平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月21日

上場会社名　株式会社 サッポロドラッグストアー　　上場取引所　大 札
コード番号　2786　　URL　http://www.sapporo-drug.co.jp/
代表者　　(役職名) 代表取締役社長　　(氏名) 富山　睦浩
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長　　(氏名) 高野　徹朗　　TEL 011-771-8100
四半期報告書提出予定日　　平成24年12月25日
配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年2月16日～平成24年11月15日)

(1) 連結経営成績(累計)　　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	35,072	7.0	837	△2.1	826	1.5	445	△3.4
24年2月期第3四半期	32,789	―	855	―	814	―	461	―

(注)包括利益　25年2月期第3四半期　446百万円　(△3.2%)　24年2月期第3四半期　460百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	346.74	―
24年2月期第3四半期	359.01	―

23年2月期より決算期を毎年3月31日から毎年2月15日に変更しております。これに伴い、24年2月期第3四半期と、比較対象となる23年2月期第3四半期の月度が異なるため、24年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	20,252	4,492	22.2
24年2月期	19,581	4,136	21.1

(参考) 自己資本　　25年2月期第3四半期　4,492百万円　　24年2月期　4,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	―	0.00	―	70.00	70.00
25年2月期	―	0.00	―		
25年2月期(予想)				70.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成25年 2月期の連結業績予想(平成24年 2月16日～平成25年 2月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	6.4	1,112	1.7	1,055	0.2	585	3.6	455.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期3Q	1,334,000 株	24年2月期	1,334,000 株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	49,100 株	24年2月期	49,100 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期3Q	1,284,900 株	24年2月期3Q	1,284,900 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、[添付資料]2ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……2
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
（４）追加情報 ……3
３．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）セグメント情報等 ……8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成24年２月16日～平成24年11月15日）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により緩やかな回復基調が見られたものの、欧州債務危機による海外経済の低迷や長引く円高基調、原子力発電所停止による全国的な電力供給問題など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

ドラッグストア業界におきましても、消費者の節約志向と小売業全体での業種・業態を超えた激しい競争など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、「健康で明るい社会の実現に貢献する」を経営理念に掲げ、ドラッグストア事業、調剤薬局事業、その他事業を展開しており、当第３四半期連結累計期間におきましては、ドラッグストア４店舗、調剤薬局１店舗を新たに出店する一方、経営効率化の観点からドラッグストア３店舗、調剤薬局１店舗を閉店し、平成24年11月15日現在の店舗数は137店舗となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(ドラッグストア事業)

ドラッグストア事業におきましては、お客様に選ばれる店づくりの一環として、買いやすい売場づくりのための改装を６店舗実施するとともに、お客様に満足いただけるサービスを提供するための従業員教育を積極的に実施致しました。

販売面では、エブリデー・セイム・ロープライスの実現を目指した定番価格の見直しや月間特売価格の拡充を行い、毎日安心してお買い物いただけることによる新規顧客の増加とリピーターの確保に努めました。

コスト面では、ローコスト運営を推進するため、販促ポイントを利用したセールを積極的に展開し、チラシの削減を図るとともに、業務効率の改善を行うための自動発注システムを当連結会計年度中に全店へ導入すべく、タスクチームを拡充し積極的に推進いたしました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は334億32百万円（前年同期比7.0％増）、営業利益は７億38百万円（同7.1％増）となりました。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、処方日数の長期化にともなう処方箋単価の上昇などにより、当第３四半期連結累計期間の売上高は15億34百万円（前年同期比5.8％増）となりましたが、本年４月の薬価改定等の影響もあり、営業利益は64百万円（同52.3％減）となりました。

(その他)

不動産賃貸業が主たる事業である、その他事業は、当第３四半期連結累計期間の売上高は１億４百万円（前年同期比12.0％増）、営業利益は34百万円（同11.8％増）となりました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は350億72百万円（前年同期比7.0％増）、営業利益は８億37百万円（同2.1％減）、経常利益は８億26百万円（同1.5％増）、四半期純利益は４億45百万円（同3.4％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、202億52百万円となり、前連結会計年度末に比べて６億70百万円増加となりました。その主な要因は、現金及び預金が４億54百万円減少したものの、商品が５億75百万円、建物及び構築物（純額）が２億31百万円、その他（投資その他の資産）が２億９百万円増加したことなどによります。

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は、157億60百万円となり、前連結会計年度末に比べて３億14百万円増加となりました。その主な要因は、未払法人税等が２億60百万円、その他（固定負債）が４億31百万円減少したものの、買掛金が７億10百万円、賞与引当金が１億51百万円増加したことなどによります。

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は、44億92百万円となり、前連結会計年度末に比べて３億56百万円増加となりました。その主な要因は、配当金の支払により89百万円減少したものの、利益剰余金が四半期純利益により４億45百万円増加したことなどによります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月23日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年２月15日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年11月15日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,249,143	794,985
売掛金	440,360	434,488
商品	4,828,325	5,403,868
貯蔵品	10,158	15,698
繰延税金資産	166,389	166,389
その他	541,913	486,106
流動資産合計	7,236,291	7,301,536
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,881,974	3,113,782
土地	4,767,392	4,875,818
その他（純額）	1,327,853	1,383,506
有形固定資産合計	8,977,219	9,373,106
無形固定資産	89,591	90,354
投資その他の資産		
その他	3,305,737	3,514,769
貸倒引当金	△27,262	△27,262
投資その他の資産合計	3,278,474	3,487,506
固定資産合計	12,345,286	12,950,968
資産合計	19,581,577	20,252,504
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,167,592	4,877,977
短期借入金	1,400,000	1,450,000
1年内返済予定の長期借入金	2,178,618	2,090,514
未払法人税等	367,035	106,983
賞与引当金	184,258	335,539
ポイント引当金	49,930	75,000
その他	1,008,081	1,058,925
流動負債合計	9,355,514	9,994,940
固定負債		
長期借入金	4,351,857	4,432,650
退職給付引当金	160,880	174,923
役員退職慰労引当金	79,791	79,791
資産除去債務	142,472	154,926
その他	1,354,883	922,930
固定負債合計	6,089,885	5,765,222
負債合計	15,445,400	15,760,162

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年２月15日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年11月15日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	439,589	439,589
資本剰余金	481,788	481,788
利益剰余金	3,275,156	3,630,734
自己株式	△60,533	△60,533
株主資本合計	4,136,001	4,491,579
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176	762
その他の包括利益累計額合計	176	762
純資産合計	4,136,177	4,492,342
負債純資産合計	19,581,577	20,252,504

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年２月16日 至　平成23年11月15日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年２月16日 至　平成24年11月15日）
売上高	32,789,449	35,072,183
売上原価	24,874,700	26,716,271
売上総利益	7,914,748	8,355,911
販売費及び一般管理費	7,059,618	7,518,851
営業利益	855,130	837,059
営業外収益		
受取利息	479	765
受取配当金	968	934
受取手数料	8,936	11,145
固定資産受贈益	31,140	23,469
情報提供料収入	－	18,193
その他	24,148	28,399
営業外収益合計	65,673	82,907
営業外費用		
支払利息	84,404	80,558
貸倒引当金繰入額	4,881	－
その他	17,339	12,790
営業外費用合計	106,625	93,348
経常利益	814,178	826,618
特別利益		
受取補償金	15,192	－
特別利益合計	15,192	－
特別損失		
減損損失	2,013	－
店舗閉鎖損失	28,804	20,220
火災損失	－	19,258
その他	250	－
特別損失合計	31,068	39,478
税金等調整前四半期純利益	798,301	787,139
法人税等合計	337,005	341,618
少数株主損益調整前四半期純利益	461,295	445,521
四半期純利益	461,295	445,521

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年２月16日 至　平成23年11月15日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年２月16日 至　平成24年11月15日）
少数株主損益調整前四半期純利益	461,295	445,521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△539	586
その他の包括利益合計	△539	586
四半期包括利益	460,755	446,108
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	460,755	446,108
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成23年２月16日　至　平成23年11月15日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	ドラッグストア事業	調剤薬局事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,246,014	1,450,068	32,696,082	93,366	32,789,449
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	31,246,014	1,450,068	32,696,082	93,366	32,789,449
セグメント利益	690,143	134,572	824,716	30,413	855,130

（注）　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	824,716
「その他」の区分の利益	30,413
四半期連結損益計算書の営業利益	855,130

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成24年２月16日　至　平成24年11月15日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	ドラッグストア事業	調剤薬局事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,432,908	1,534,727	34,967,636	104,546	35,072,183
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	33,432,908	1,534,727	34,967,636	104,546	35,072,183
セグメント利益	738,850	64,206	803,057	34,002	837,059

(注)　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	803,057
「その他」の区分の利益	34,002
四半期連結損益計算書の営業利益	837,059

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。